

令和7年度 すくすくウォッチ結果考察【概要版】

<すくすくウォッチとは>

令和3年度から始まった小学校5・6年生を対象(6年生はわくわく問題のみ)とした大阪府独自の取組み。今年度は4月21日(月)に実施。
子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を活用させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的とする。その目的を達成するため、子ども、家庭、学校は、本テストを実施するとともに、テスト及びアンケートの結果や分析等から、以下の取組みの充実に努める。

- 学校…教員が、子ども一人ひとりの学びに対する思いや強み弱みを知り、一人ひとりの実態に合わせた指導を行う。
- 児童…自分の学びをふりかえり自らの強みや弱みなどを知って新たな目標をたて、強みをのばすことや課題を克服すること等に取組む。
- 家庭…こどもの伸びや課題を知り、子どもを励ます等によって、子どもを支援する。

すくすくウォッチから確認できた成果と課題

成果について

- ☆基礎的・基本的な学力の定着が見られた。
- ☆関連付けて考えたりまとめる問題についてはよくできていた。
- ☆無解答率が府と比べて低い。

課題について

- ☆表や文章などの資料と会話文とを関連付けて論理的に考えること。
- ☆複数の資料から内容を整理するときに、共通点を正確に見つけ出し記述すること。

課題解決に向けた今後の市としての取組み

☆目的に応じて、自分の考えをまとめ、伝わりやすいよう工夫して表現する力の育成

- ① すべての教科で文章を書く取組みを実施
- ② 資料から必要な情報を選び、書き表し方を工夫する場面の設定
- ③ 話し合い活動では、課題や目的を意識しながら、周りの発言と自分の考えを比較したり、整理して考えをまとめたりする学習活動の設定

☆課題設定や解決に向けて、自分で考え、主体的に取組む授業づくりを行う

- ① 課題解決に向けて、主体的に情報を集めて整理したり、自分の考えをまとめたりする授業の実践
- ② 生活と結び付けて考えたり、活用したりできる場面の設定
- ③ 一人ひとりの興味・関心に沿った課題の設定、学習方法の選択・調整する場面を設定

☆ICT機器を活用した学習活動の充実

- ① 1人1台端末を活用して他者の意見と比較したり、様々な考えを交流し、自分の考えを再構築したりする場面の設定
- ② シンキングツールを用いて考えを整理し文章の、構成を意識しながら、表現を工夫する場面の設定
- ③ 遠隔合同授業を学校間で実施し、小グループで協働して課題解決を図る場面の設定

☆学校全体で組織的に取組む授業改善

- ① 主体的、対話的で深い学びの視点に立った授業づくり
- ② 目の前の児童生徒の課題に正対した取組み

わくわく問題（教科横断的問題）について

<わくわく問題とは>

- 教科の枠を超えた日常の活動や現代的な諸課題（SDGs、プログラミング的思考）等をテーマにした問題。
- 文章や絵、図、表、グラフ、ホームページなどを読んで、自分の考えを書くなどの問題。

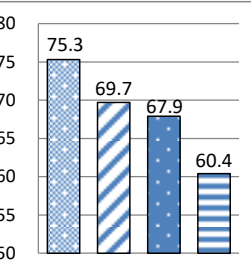
<わくわく問題の観点>

- 子どもが、多様な他者と協働し、探求的な学習を進め、生きる力を伸ばすために必要な力として、以下の5つの観点到に整理される。

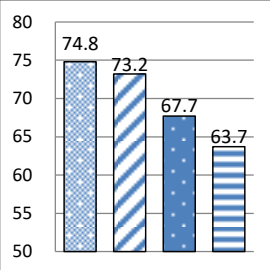
- A：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。
- B：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。
- C：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。
- D：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。
- E：興味・関心のある事柄について、意欲的に工夫して相手に伝える。

わくわく問題の正答率 × アンケート クロス集計から

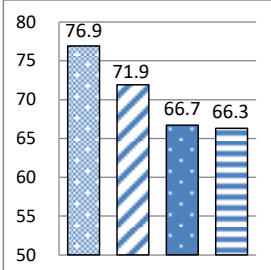
自分の考えをノート等に書いている



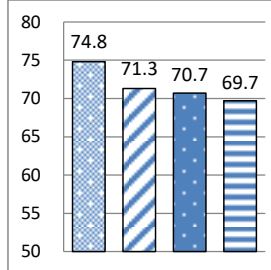
話し合いをするとき、自分の意見と他の意見を比べている



文章を読むとき、どこが大事なところか考えながら読んでいる



その時間に学んだことについて、振り返りをしている



自分の考えをノート等を書いたり、話し合う場面で自分の意見と他の意見を比べたり、どこが大事かを考えながら文章を読んでいる児童の正答率が高い。また、授業で学んだことについて、振り返りを行っている児童も正答率が高いことがうかがえる。

■あてはまる □どちらかといえば、あてはまる ■どちらかといえば、あてはまらない □あてはまらない

わくわく問題（教科横断的問題）の状況 【良かった点】

図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて正しく捉えて、それを論理的に考える問題にである下記の3（1）について府より正答が高かった。本問題については、普段の授業の中で資料から目的に応じて内容を正確に読み取り、それをもとに論理的に考え、整理したり自分の考えをまとめたりする学習への取組みが進んでいると考えられる。わくわく問題の「文章から読み取る力」に関するA平均正答率を見ても、昨年度同様、すべての設問において府の平均正答率を上回っていた。

わくわく問題（教科横断的問題）の状況 【改善が必要な点】

図や表・グラフ・短い文章・会話文等の内容を関連付けて正しくとらえたことをもとに記述式で答える問題について、今回は3問出題された。下記の1（3）については5・6年生ともに府より正答率が高かったものの、2学年の正答率の平均はおよそ4割にとどまった。本問題については、複数の資料から必要な情報を読み取り、自分の考えを【条件】に合わせて書く内容であることが誤答の要因と考えられる。この課題解決に向けて、児童が授業の中で複数の資料から自分の考えに繋がる根拠となる内容を整理し、相手に伝わりやすいよう工夫して書き表す時間をこれまで以上に設ける必要がある。

○問題の概要 3（1）

近年、さまざまな社会的場で活用されている「ナッジ」を題材として、資料や会話の内容を適切に読み取る力、アイデアを言葉や絵にして具体的に伝える力などを問う内容で、（1）では、身近にある問題点や見聞きした事柄について、資料や会話文から情報を読み取って整理し、捉えた内容から分かることを選択する問題。

○問題の観点 A B

○問題形式 選択式

正答率	市平均	対府差	府平均
5年生	65.2	+5.4	59.8
6年生	67.8	+3.3	64.5

○問題の概要 1（3）

身近な飲み物であるミックスジュースを切り口に、資源をむだにしないことなど、環境をテーマとした題材とし、読み取った情報に基づいて抽象化して考える力や、目的に合う自分の考えを理由とともに伝える力を問う内容。

○問題の観点 A D

○問題形式 記述式

正答率	市平均	対府差	府平均
5年生	37.4	+0.4	37
6年生	52.5	+4.4	48.1

【矢印のマーク】

レジ



ねえ、気づいて？ わたしもあきとさんも矢印のマークの上に立っているね。

みさき



ほんとだ。だれかに言われたわけではないのに、矢印のマークの上に立っていたよ。



そうだったのか！ お客さんにもお店の人にもいいことがあるんだね。



床に矢印のマークがあると、お店の人やお客さんにとって、どのようなよいことがありますか。会話からわかることを、下のAからEまでの中から2つ選びましょう。

A レジの前がこんごつしないので、お客さんが知り合いの人を自分の列の前に入れてあげられる。

I 会計を待つお客さんの列が自然と整うので、お店の人が呼びかけなくてすむ。

U スムーズに会計をすることができるので、お客さんがたくさん品物を買ってくれる。

E 矢印のマークがあることで、お客さんにとって並ぶ場所がわかりやすくなる。



みんなが矢印のマークの上に立つことで、何かいいことがあるのかな。お店の人に聞いてみよう。

みさき



矢印のマークがあることで、どこに並べばいいか、お客さんがわかりやすくなります。また、会計を待つ人の列が整い、スムーズに会計をすることができ、わたしたちも助かります。

(3) みつきさんたちは、紙で作っているゴミについて調べる中で、資源ゴミとして回収された紙等を再利用した「パルプモールド」というものがあることを知りました。

【パルプモールドとは】

資源ゴミとして回収された紙等を水に溶かして、金属の型に流し込み、乾燥させて作られたものです。
様々な形に加工できるので、果物や卵、電化製品などの割れやすいものや壊れやすいものを守るかんしょう材としてよく使われています。使い終わっても再利用して、新しいパルプモールド製品を作ることができます。

(パルプモールドを使ったかんしょう材の例)



果物



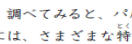
卵



電化製品



パルプモールドで作られた卵のバックもあるんだね。スーパーでは、プラスチックで作られた卵のバックをよく見かけるよね。



調べてみると、パルプモールド容器とプラスチック容器には、さまざまな特徴があるみたいだよ。どちらにも、よいところがあるんだね。



【パルプモールド容器の特徴】

立体的で複雑な形や頑丈なつくりにできますが、水にぬれると容器の形が変わってしまうことがあります。また、目的の形の金属の型を作るのに費用がかかるため、プラスチック容器に比べると価格が高くなります。植物や資源ゴミとして回収された紙等を使って作るため、自然のはたらくで土にかえります。



【プラスチック容器の特徴】

容器を透明なものや色のついたものにするなど、使い道によって変えることができますが、熱や衝撃で容器が変形してしまうことがあります。また、大量に生産することができ、パルプモールド容器に比べると安く作ることができます。プラスチックは、自然のはたらくで土にかえることはなく、プラスチックのまま残り続けます。



問い あなたは、卵のバックとして「パルプモールド容器」と「プラスチック容器」のどちらの方がよりよいと考えますか。次の【条件】に合わせて書きましょう。

【条件】○「パルプモールド容器」と「プラスチック容器」のうち、選んだ容器のマークを1つ塗りつぶしましょう。
○【特徴】のらんに、あなたが選んだ容器のよいと思う特徴を、上の文章中の言葉を使って、書きましょう。
○【よいこと】のらんに、その特徴があるとどんなよいことがあるかを文章で具体的に書きましょう。